

2019年事業報告書(2019年4月1日～2020年3月31日)

2019年度は、国内外の研修事業をはじめ保険フォーラムなどの公益事業は、前年と同等の規模で実施した。なお、国内セミナーへは新たにネパールからの参加者があり、財団の国際的なプレゼンスが上がったと思われる。

また、運用環境については、引き続き国内では超低金利が続いた。2022年度の満期償還債券の再投資時期までに金利の上昇が待たれるところである。

1. 事業報告

(1) 研修事業

① 海外現地セミナー

今年度はモンゴル(ウランバートル)、台湾(台北)の2か所で現地セミナーを開催した。

開催国・地域(都市)とテーマ	開催日	共催団体	参加人数
モンゴル(ウランバートル) 日本の生命保険市場	8/28	モンゴル保険協会	75名
台湾(台北) 1. 日本の介護保険について 2. インシュテックによる商品・サービスの変化	12/10	台湾生命保険協会	70名

なお、当初1月16日に予定していたフィリピン(マニラ)での現地セミナーは、渡航直前にマニラ近郊の火山が噴火し渡航に危険性があると判断したことから、中止となった。

② 国内セミナー

国内(東京)では、本年度も英語によるセミナーを2回開催した。アジア各国の生命保険協会、生保関係機関、主要保険会社宛に開催案内を送付したところ、両セミナーとも定員の2倍近い申込があり、いずれも盛況裡に終えることができた。

セミナー名とテーマ	開催時期	基本言語	参加人数
OLIS 2019 Spring - リスクマネジメント	5/23～5/28	英語	43名
OLIS 2019 Autumn - 生保のシニアマーケティング	10/24～10/29	英語	39名

③ 渡航費支援

今年度の国内セミナー参加者への「セミナー等参加渡航費の支援制度」による渡航費支援は、2回合計で23名に合計178万円を支援した。

④ 海外調査

韓国保険研究所(KIRI: Korea Insurance Research Institute)から当研究所主催のソウルでの国際会議における講師派遣依頼を受けた。財団では、プルデンシャル・ホールディング・オブ・ジャパン顧問の一谷昇一郎氏に講師を依頼するとともに、会議に参加した。その際に、韓国生命保険協会、三星生命、プルデンシャル生命を訪問し、情報交換を行った。

(2) 教育振興事業

① 生命保険寄附講座

慶應義塾大学理工学部の寄附講座は、「OLIS-生命保険寄附講座」として4月より10年目(3年講座期間の第4ターム1年目)を開始した。本年度は次の通り開講した。

学期「講座名」	開講期間	場所
春学期1「生命保険概論」	4/11～7/18	慶應義塾大学日吉キャンパス
春学期2「生命保険数学特論」	9/2～9/6	慶應義塾大学矢上キャンパス

また、2014 年度より中央大学理工学部・大学院理工学部研究科において「OLIS-プルデンシャル生命・ジブラルタ生命保険寄附講座」を開設し、2019 年度は 6 年目（3 年講座期間の第 2 ターム 3 年目）を開始した。

学期「講座名」	開講期間	場所
保険数理	後期	中央大学理工学部
アクチュアリー数理Ⅱ	後期	中央大学大学院理工学研究科

② 保険フォーラム

保険フォーラムは各大学から高い評価を受け、初開催のみならず再開催の打診の問い合わせも増えてきている。本年度は、次の通り 4 回開催した。

開催大学	テーマ	開催日	参加人数
京都大学	アクチュアリーと数学、データサイエンス	6/22	107 名
東京工業大学	保険・年金業界におけるアクチュアリー	9/28	61 名
法政大学	アクチュアリーの仕事と保険業界の展望	10/19	99 名
琉球大学	デジタル社会が保険ビジネスを変える	2/1	86 名

(3) 奨学制度

生命保険を学ぶ大学生を対象にタイ生命保険協会が実施している奨学制度を助成する「タイ生命保険協会奨学制度」は、奨学生 3 名に対して一人 5,000 バーツ、合計 15,000 バーツ（約 5 万円）を 7 月に給費した。

(4) 広報・出版事業

① 論文・書籍・情報の翻訳

今年度は、「生保会社の経営課題」（小藤康夫 著）の英訳に取り組んだ。2010 年度以降の決算報告に基づき、厳しい環境下にある日本の生保会社の経営課題について解説した本書を、翻訳・出版した。

完成した英訳本は、国内関係機関へ無償で配布した。なお、アジア各国の生命保険協会、生保関係機関、主要保険会社へは、新型コロナウイルスの影響が落ち着いたところに無償で配布する予定である。

② 財団紹介パンフレットの増刷

財団の事業活動や実績などを広く知ってもらうためのパンフレット「INFINITY」について、日本語版を 300 部増刷した。

③ ホームページの改修

毎月更新し、セミナーや保険フォーラムの開催予定など最新情報の発信に努めている。

④ 「日本の生命保険マーケット最新事情」の発信

日本の生命保険マーケットの最新事情をアジア各国に理解してもらい、自国の生命保険事業振興の参考としてもらうことを目的に、「日本の生命保険マーケット最新事情」を、英語、日本語、中国語（繁体字・簡体字）の 3 か国語、4 文体で財団ホームページに掲載している（筆者は株式会社保険社の編集営業局部長であり、当財団の運営委員会委員である鈴木健市氏）。今年度は、「次世代型医療保険」、「なぜ、グループ経営を進めているのか〜日本生命 4 社体制、第一生命 3 社体制」、「なぜ、保険ショップ（乗合代理店）の子会社化が続くのか？」を掲載した。

(5) 運営委員会の開催

広い視野に立って財団の事業の在り方を検討するため、2019 年度は次の方に運営委員会委員を依頼し、理事長を議長として次の通り運営委員会を開催した。

① 運営委員の選任

森宮 康 委員（財団理事 明治大学名誉教授）

前田 吉昭 委員 (財団理事 東北大学知の創出センター 副センター長)
 鈴木 健市 委員 (株式会社保険社編集営業局部長)
 山内 恒人 委員 (慶應義塾大学理工学部数理科学科特任教授)
 飯島 至雄 委員 (財団評議員 元三井住友海上火災保険(株)執行役員)
 寺田 重陽 委員 (財団評議員 前財団理事長)

② 運営委員会の開催

・第1回運営委員会

日時 2019年12月4日 17時00分～
 場所 (公財)アジア生命保険振興センター理事長室
 議題 ・2019年度事業報告
 ・2020年度事業計画

(6) 寄附講座選考委員会の開催

日時 2019年4月4日 17時00分～
 場所 (公財)アジア生命保険振興センター理事長室
 議題 ・選考委員長及び選考副委員長の選任
 ・寄附講座助成金交付大学の審議(2020年度開始分)

2. 組織運営報告

行事	開催日	主な議事・内容など
寄附講座選考委員会	2019年4月4日	選考委員長及び選考副委員長の選任、寄附講座助成金交付大学の審議(2020年度開始分)
会計・業務監査会	2019年5月13日	2018年度事業と会計の監査
第24回理事会	2019年5月13日	2018年度事業報告及び財務諸表、2020年度寄附講座助成大学の選定、定時評議員会の開催、理事候補者の推薦
第13回評議員会	2019年6月4日	2018年度事業報告及び財務諸表、理事、評議員の選任
第1回運営委員会	2019年12月4日	今後の事業展開
第25回理事会	2020年2月5日	2020年度事業計画及び収支予算 2020年度資産運用計画

3. 財務会計報告

(1) 投資信託(流動資産)の一部売却

- ① 銘柄 野村 PIMCO 米国投資適格債券戦略ファンド(為替ヘッジあり)
- ② 売却金額 10,000,000 円
- ③ 売却受渡日 2019年12月10日
- ④ 預かり会社 野村証券株式会社
- ⑤ 売却理由 運用財産である普通預金残高が780万円(2019年11月末時点)と少なくなったため。

4. 管理部門

新型コロナウイルス感染症に対する安全確保及び感染拡大抑止のため、財団職員は3月下旬より原則として在宅勤務とすることとした。